

2019年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2103141	ハングル入門 A primer of Hangul	白 明学	基礎	1	選択	3年 前期
科目の概要						
日本語と韓国語の間では、語順がほぼ同じであることや類似する発音も多く存在するため、ハングルの読み方さえできればとても早く習得できる言語である。 本講義では、韓国語に用いられている、「ハングル」の文字体系(子音・母音・終声子音)を習得し、自ら読み書きができるようにすると同時に簡単な会話や自己紹介が出来ることまでを学修目的とする。						
学修内容			到達目標			
① ハングルの母音体系を理解する。 ② ハングルの子音体系を理解する。 ③ 韓国語の助詞と語順を知る。 ④ 疑問詞を用いて実際の会話に適用する。 ⑤ 韓国語で自己紹介を実施する。			① ハングルの母音体系の原理を知ることができる。 ② ハングルの子音体系の原理を知ることができる。 ③ 話したい日本語を自ら考えることができる。 ④ 必要な単語を使い会話に適用することができる。 ⑤ 韓国語で自己紹介が出来る。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	ハングルの音韻を書きながら発音練習をするなど自己学修ができる。				
	働きかけ力					
	実行力	ハングルの文字体系が理解できるように繰り返して声を出して発音練習をすることができる。				
考え抜く力	課題発見力	ハングルの音韻原理に基づいて日本語との違いを認識し、正確な発音ができるように理解することができる				
	計画力					
	創造力	日本語との語順の類似性を生かし、自ら韓国語の文章を考えることができる。				
チームで働く力	発信力	自己アピールポイントを簡単な文章にまとめ、みんなの前で発表することができる。				
	傾聴力	他の学生の自己紹介を聞いて、自分との違いを比較することができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	講義中の私語、無断欠席、遅刻など授業に支障をきたすことはせず、ルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:「かんたん!韓国語」 金殷模 他, 朝日出版社 プリントを適宜配布する。						
他科目との関連、資格との関連						
学修上の助言			受講生とのルール			
<ul style="list-style-type: none"> 配布プリントとノートは、専用のファイルにまとめて置くようにして下さい。 講義後は授業内容を必ず復習するようにして下さい。 			<ul style="list-style-type: none"> 授業で配布した資料の予備は保管しません。出席者からコピーさせてもらうようにして下さい。 携帯電話は、辞書機能を使う時以外は、電源を切ってカバンにしまっておいてください。 			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
中間テスト	30	①	✓	ハンゲルを文字表を見ないで読むことができるかを評価する。 自己紹介の時に原稿を見ないで明瞭な発音で発表できるか確認する。
		②	✓	
小テスト	20	①	✓	必要に応じ小テストを実施し、点数を平均して判定する。 ① 授業内容を理解しているか確認する。 ② 前の週の学習内容を中心に出题する。
		②	✓	
レポート	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・課題①「学修内容に関する小テスト」A4用紙1枚 ①ハンゲルの文字体系・基礎的な単語・短文の翻訳/作文を確認する。 ・課題②「韓国語の自己紹介文」10文章位を目安とする。 ②伝わりやすい言葉で表現できているかを評価する。 ・課題③「授業後の感想」
		②	✓	
		③	✓	
成果発表 (口頭・実技)	30	①	✓	①自ら作成した韓国語の自己紹介を発表する。(発信力) ・暗記して自己紹介が出来ることを評価する。 ・明瞭な発音で発表することが出来ることを評価する。
		②	✓	
		③	✓	
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①		(主体性)・語学力を身に付けるために自ら予・復習をすることが出来る。 (実行力) ・授業で学修した内容を日常的な場面で意識的に活用することが出来る。 (課題発見力) ・様々な会話の場面をイメージしてそれに必要な言葉を覚えることが出来る。 (創造力) ・学修した文法や単語を応用して自分の表現に変えることが出来る。 (発信力)・人の前で韓国語を使って自己アピールをすることが出来る。 (傾聴力)・韓国語の発音を正確に聞き取り、真似をすることが出来る。 (規律性)・無断欠席、学修意欲の欠如など授業に支障をきたす行動をせずルールを守ることが出来る。
		②		
		③		
		④		
		⑤		
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ハンゲルを文字表を見ないで読むことができる。 ・自己紹介の時に原稿を見ないで明瞭な発音で発表することができる。 ・レポート課題を 90%以上完成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンゲルの仕組みを理解でき、文字表を見ながら発音ができる。 ・自己紹介の際に原稿を見ながら明瞭な発音で発表することができる。 ・レポート課題を 70%以上完成することができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション及び ハングルの仕組み(子音・母音・ 終声子音)について	講義	ハングルで自分の名前を書く ことができる。	配布した資料の文字表 を見て子音と母音を覚 えること	45	主体性 実行性
2週 /	ハングルの母音体系(単母音) を学ぶ。	講義	単母音の読み書きができ る。	母音の「ㄱ・ㄴ」、 「ㅇ・ㅁ」の違いを復 習すること	45	主体性 実行性
3週 /	ハングルの基本子音を学ぶ。	講義	子音の書くことが出来る。	子音の音韻特徴を発音 できるように復習するこ と	45	主体性 実行性
4週 /	ハングルの子音体系(濃音・硬 音・激音)を学ぶ。	講義	日本語にない子音の発音 ができるようにする。	子音の「ㄷ・ㄸ」、「ㄹ・ ㄺ」の違いを復習するこ と	45	主体性 実行性
5週 /	ハングルの母音体系(合成母 音)を学ぶ。	講義	合成母音の読み書きがで きる。	日本語にない母音を中 心に復習する。	45	主体性 実行性
6週 /	ハングルのパッチムについて 学ぶ	講義	パッチム(終声子音)の仕組 みが理解できる。	日本語の「ん」「っ」の音 と比較しながら復習する	45	主体性 実行性 創造力
7週 /	二重パッチムと発音の変化に ついて学ぶ	講義	リエゾンのような発音の変 化が理解できる。	文字を目で読むのでは なく、なるべく音読するこ と	45	主体性 実行性
8週 /	文字テスト及び 韓国・韓国文化 Q&A	講義	ハングル文字を一通り読む ことができる	文化の違いについて考 えてみる	45	主体性 実行性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	助詞「～は」 「～です」「～ですか」	講義	名詞を使った単文を作ることができる	助詞の使い分けを理解する	45	主体性 実行性
10週 /	くだけた場面で使う「～です」 「～ですか」を学ぶ。 数字を覚える	講義	会話でよく使う文体を使うことができる。	数字「一、二、三～」の言い方を覚える	45	主体性 実行性 創造力
11週 /	助詞「～から」 時間の言い方を学ぶ	講義	数字を使った時刻が言える。	時、分それぞれの言い方を覚える	45	主体性 実行性 課題発見力
12週 /	助詞「～が」 「～ではありません」を学ぶ	講義	否定文を作ることができる	否定文で使われる2種類の助詞の使い分けを覚える。	45	主体性 実行性
13週 /	-韓国語で自己紹介文を書く -印象に残る自己紹介文を考 える-	演習	自分のアピールポイントをまとめることができる。	日本語の自己紹介文を書いてくること	45	主体性 実行性 働きかけ力
14週 /	-実践① 自己紹介文を発表する。	発表	自己紹介文を読むことができる。	声を出して自己紹介が出来るように読む練習をすること	45	主体性 実行性 働きかけ力
15週 /	まとめ 韓国語を聞き取る。	演習	聞き取れた韓国語を日本語で言うことができる。	今まで学修した韓国語の単語を確認すること	45	主体性 実行性 情報把握力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力